

報道資料

平成 29 年 8 月 14 日

—私たちが見ている視線の先に見えるものとは？—	
1 件 名	未来の山口の授業 at YCAM <small>アイトゥーアイ</small> 「Eye2Eye」
2 日 時	2017年8月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日) 9月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日) / 各回 14:00~16:00
3 場 所	山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティ・スペース
4 内 容	<p>山口情報芸術センター [YCAM] では、「未来の山口の授業 at YCAM」と題して、これまでYCAMが作ったワークショップを体験できる機会を、年間を通じて開催しています。8月後半から9月前半に体験できるワークショップは、「Eye2Eye」。視線解析技術を用いて、視線を使ったコミュニケーションの存在と、その本質を考えます。</p> <p>本ワークショップでは参加者全員が今どこを見ているかをスクリーンに同時に投影する「視線共有」を行います。まったく同じ絵画や映像を見ている各人の視線は十人十色、それぞれ違う部分に着目していることが一目瞭然になります。</p> <p>「Eye2Eye」開催概要</p> <p>期間：8月19日(土)～9月10日(日) 毎週土日開催(全8回) 各回14:00~16:00</p> <p>会場：山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティ・スペース</p> <p>料金：無料(要申込み) 対象：小学4年生～一般 定員：9名</p>  <p>過去に実施した「Eye2Eye」でアイライターの使う参加者</p> <p>▶ 「Eye2Eye」とは？ YCAMで2011年に行われた企画展『LabACT 視線を通じて世界と繋がる。—視線入力技術』の関連イベントとして作ったワークショップ。YCAMが開発に関わった視線検出装置「The Eye writer」(アイライター)を使い、日常生活であまり意識することのない自分自身の視線を可視化した上で、人間心理との相関関係などの特性を浮き彫りにするゲームなどをおこないます。</p> <p>▶ 「未来の山口の授業」とは？ メディアテクノロジーの応用に関するYCAMの豊富な知見を活かして、新しい教育モデルとして発信していく活動を、今年度から「未来の山口の授業」と名付けています。</p>
5 問い合わせ	山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 (担当：青柳・岡崎・橋本) TEL:083-901-2222 / FAX:083-901-2216 メールアドレス： press@ycam.jp